

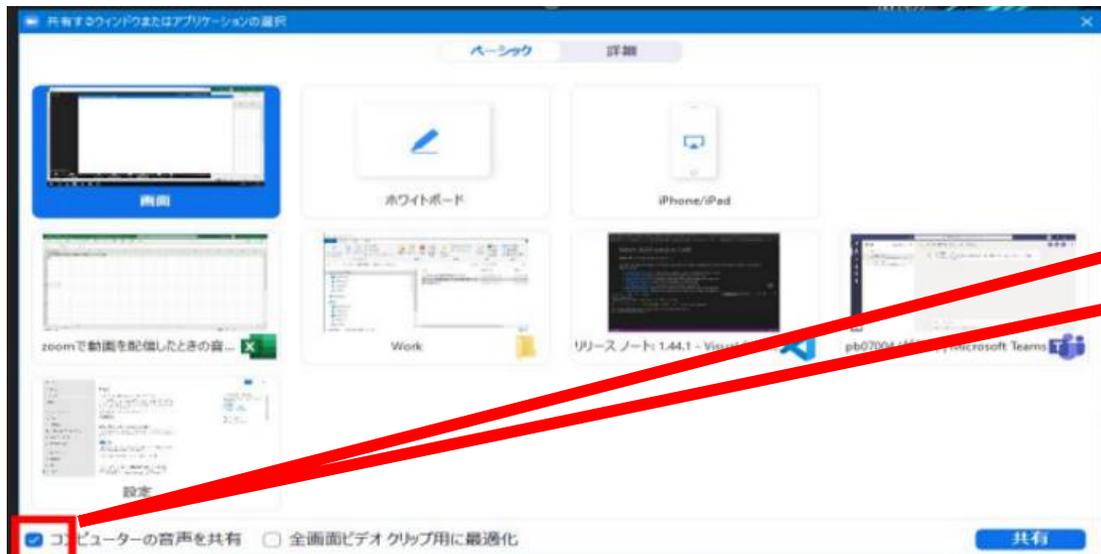
オンライン人間塾 運営マニュアル (Ver1)

①毎週2回実施 (火) 20時00分～21時30分、(土) 10時00分～11時30分

- ・1回 約90分 (各支部長は2週連続で対応していただきます)
- ・当日30分まえにzoomに入り、資料 (動画含む) が正常に動くか、音が流れるか (スライド共有するときに音声を事務局と確認)

Wi-Fi環境が整っている場所をお願いします

過去、支部長が突然退出してしまったケースあり (喫茶店で参加したため)



必ず、
コンピューターの音声を共有を
チェックする！

- ・ 開始時間の10分まえから参加者が入室
- ・ zoom背景は事務局からもらってください（右写真）



登壇される支部長以外の武術黒帯、丹術ゴールドは上記背景を使用すること。

②発表資料（テキスト）は事前に創始に了解をいただく（FBの支部長グループに）

原則2週間前で始めたが、実態としては1週間前までに確認いただくケースが多い。
今後は原則1週間前までに確認をいただく形で統一したい。

③既に決められている担当スケジュール日に実施できない場合、他の支部長と日程を変更をして、事務局とオンライン人間塾実行委員会の3名（嶋司、山崎、林）まで連絡すること

- ・ 総本山の行事と日程がかぶる場合等は実施日を月、水、日などに変更して行う場合もあり

2022年（令和4年）7月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 友引	2 先負
3 仏滅	4 大安	5 赤口	6 先勝	7 友引	8 先負	9 仏滅
10 大安	11 赤口	12 先勝	13 友引	14 先負	15 仏滅	16 先勝
17 赤口	18 先勝	19 友引	20 先負	21 仏滅	22 先勝	23 先負
24 先勝	25 友引	26 先負	27 先勝	28 先負	29 先勝	30 友引
31 先負						

※法改正等で祝日が変わる可能性があります

2週を1つの単位で
日程交換してください

①第3章（前半）

②第3章（後半）

③第3章（前半）

④第3章（後半）

原則、①と③、②と④のみの支部長の交代しない。2週単位（前半・後半）での交代です。①と②、③と④がそれぞれ支部長は違うと流れが止まりますので前半・後半は同じ支部長にご登壇いただきます。但し、調整がつかない場合は後半担当の方は前半担当の録画を事前確認して、前半、後半の流れがうまくいくように対応すること。

④各章を前半と後半に分け、2週かけて行う

- ・資料は「空の法則テキスト」の表現、イラストを使用した上で各支部長の色を出してOK
- ・第1章のみボリュームがある為、4回に分けて実施（前半2回、後半2回）

前半 物質世界～意識領域まで（P1 1～P2 7を2回に分ける）

後半 量子力学まで（P2 9～P3 9を2回に分ける）

なお、1章（前半2回、後半2回）を4回に分けているため、各回の座学時間が短くなる傾向がありますので、

自分の色を出せる追加イラストや動画などを入れ込んで対応をお願いいたします。
2回目は1回目の振り返りから始める支部長もいらっしゃいます。

⑤当日の流れ（参考）

30分前にzoomに入室して操作確認などを行い、時間になったら開始



参加者からの1週間のフィードバック（20名参加の場合、25～30分くらいかかります）



座学（40～45分）

最初に中心道 武道の叡智をを現代に生かし、日本から世界で活躍する人材を輩出するという前提共有をしていから座学に入ること。



参加者からのフィードバック（全員フィードバックいただく時間がないため、何名かに話していただく）
但し、最後は黒帯（不在の場合は茶帯）からフィードバックいただくとその場が締まります（15分）



事務局から一言いただきます（今後のWEBセミナー日程など）（2分）



当日、または翌日に参加者からFBにコメントいただくケースがある為、必ずそれに対してコメントする

⑥言語統一（緊張等で言語を間違えるケースがありますので注意しましょう）

- ・自力 じりき ×じりよく
- ・『武道』の叡智 ×『武術』の叡智 ×『武術』の英智
- ・中心帰一 生命の源 ◎『いのち』の源 ×『せいめい』の源
- ・四聖について ◎基本は『ししょう』（『しせい』とも言います）
- ・分別 ふんべつ ×ぶんべつ
- ・十界論 じっかいろん ×じゅっかいろん

座学前の
前提共有は
必ず行う。

次頁の
中心帰一も含む

中心道

武道の叡智を現代に活かし
日本から世界で活躍する人財を輩出する

戦わずして勝つ。

という武道の本質である

敵をつくらない「無敵の力」を

身につけて、実社会で活躍する

リーダーを輩出し、

日本の国力をあげることが

目指します。

中心帰一

すべての道は宇宙に通じ

すべての答えは己の肚(中心)にある

“生命の源は丹田(中心)にあり”

宇宙と人間を結ぶ、丹田(中心)の能力を開発し

地球人類の豊かな未来を創造する

陰

下陽